

研修会等参加報告書

平成30年10月15日

天童市議会議長様

会派名 てんどう創生の会

代表者氏名 渡辺 博司



下記により、会派において研修会等に参加してきましたので報告します。

記

研修会等名	地方議員研究会研修「議員が知っておくべき財政の話」
主催団体名	地方議員研究会
日時	平成30年10月10日(水) 10:00 ~16:30
会場・場所	名古屋ダイヤビルディング1号館 愛知県名古屋市中村区名駅3-16-22
全体参加者数	約40人
内容等	大阪府寝屋川市の財務課長、財務部長を務められた程岡俊和氏から地方財政について説明を受けた。 主な内容は、次のとおりである。 1. 財政の基本的知識と用語解説 2. 役所の予算編成から決算まで 3. 決算の分析と財政の健全化 4. 地方公会計制度 5. 地方財政計画 6. 地方交付税 7. 普通交付税 8. 臨時財政対策債 9. 地方債 10. 補助事業に対する交付税措置

<p>市政の課題への参考等</p>	<p>臨時財政対策債や普通交付税の算定などについて理解を深めることができた。今後の予算・決算の審議の際に活かして行きたい。</p>	
<p>参加者の感想等</p>	<p>参加議員氏名</p>	<p>感想等</p>
	<p>三宅 和広</p>	<p>財政課長を経験された程岡さんのお話は、実際の現場での考え方が示されており、たいへん参考になるものであった。</p> <p>特に印象に残ったことは、次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常、新規事業に合わせて職員は増えないため、新規事業は職員の新たな負担となる。そのため、職員が「やらされ感」を持ってしまう恐れがあり、新規事業に魂が入らない結果となってしまう危険性がある。</li> <li>・予算の一律カットやマイナスシーリングは、新規事業を始めるためにはある程度必要なものである。</li> <li>・自治体の健康診断ともいえる「決算カード」は、他自治体と比べることにより自らの健康度を把握する上で重要なツールである。</li> <li>・財務書類作成のための基礎資料としてだけでなく、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化の観点からも固定資産台帳の整備は必要不可欠である。</li> <li>・財務書類は作成するだけでなく、ツールとして活用する必要がある。活用を積極的に推進することにより、地方自治体のマネジメント機能を向上させ、ひいては、人口減少・少子高齢化が進展する中で限られた財源を「賢く使うこと」などにつなげることが期待される。</li> <li>・補正予算を獲得するには早めに動く必要がある。うまく波に乗るために日頃から準備しておく必要がある。</li> </ul>